

令和7年度 体育に関する指導改善計画

東広島市立中央 中学校

部活動

令和6年度の重点課題

○1日のテレビ（テレビゲームも含む）パソコン、スマートフォンの視聴時間を3時間以上に答える生徒は50%で昨年度よりも増加している。

○男女とも、3種目以上県平均かつ全国平均よりを大きく下回っている。特に、長座体前屈・持久走・立ち幅跳びの3種目が低い状況になっている。

○「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問について、昨年度は好きだと回答した生徒が男子で60.58%、女子で50%であった。本年度と比較すると、男子は増加したが、女子が減少している。また、嫌い回答した生徒が男子で4.8%、女子で7%であった。本年度と比較すると、男子4.12%、女子14.89%どちらも増加傾向となった。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

○縄跳び運動などを取り入れ、全身持久力の向上を目指した。

○保健体育の授業時に、ストレッチを行って、どこに効かせるものなのかを説明し取り込んだ。

○保健の授業や身体測定の際に、養護教諭から資料を配布し、その資料内容について説明を行い、食事・運動・睡眠の重要性について学習した。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	25.45	26.67	37.70	50.97	429.31	8.00	190.19	20.72	38.27	22.71	23.64	40.84	45.38	317.39	8.88	164.20	13.99	45.90			

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	25.45	26.67	37.70	50.97	429.31	8.00	190.19	20.72	38.27	22.71	23.64	40.84	45.38	317.39	8.88	164.20	13.99	45.90			

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	64.95	24.74	6.19	4.12	第2学年	42.55	29.79	12.77	14.89

学校独自の意識調査

今年度、学校独自の意識調査は未実施

重点課題

情意面での課題

運動やスポーツをすることは好きと肯定的な回答をした生徒が81%と高い数値だが、女子生徒の肯定的回数が低い傾向にある。運動に消極的な生徒が多い様子もある。

体力面での課題

男女共に多くの種目で全国平均値を大きく下回っている。特に男子は「立ち幅跳び」女子は「長座体前屈・持久走」が全国平均値を大きく下回っている。

令和8年度の
重点目標値

○男子

3種目以上で、県平均及び全国平均以上の記録を達成する。
運動やスポーツをすることが嫌いという生徒を4%以下にする。

○女子

3種目以上で、県平均及び全国平均以上の記録を達成する。
運動やスポーツをすることが嫌いという生徒を9%以下にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

生徒が主体的に運動する場面を多く設定し、楽しみながら運動できる工夫をする。
「運動が楽しい。できた。」を感じさせるために、各自でレベルを決めるができるような場の設定や、スマーブルステップで学習を段階的に進められるようにする。

年間を通じて、縄跳びも補強運動の中に取り入れることで、持久力や瞬発力を鍛えていく。

体育の授業以外で行う取組内容

部活動や地域クラブへ積極的に参加し、活動時間が削減されていく中で短時間でしっかりと体力を向上できるように意識を高めていく。学級活動や学校行事を通して、学ぶことへの意識を高めていく。